

令和 2 年 度

一般入学試験

数 学

時間： 50分
満点：100点

受験についての注意

- 1 試験開始の合図があるまで、問題用紙を開かないでください。
- 2 問題用紙は3ページ、問題は1～5まであります。
- 3 開始の合図があったら、まず解答用紙に受験番号、氏名を記入してください。
- 4 試験中、問題用紙の印刷が見えにくい、または文章等で不明な点がある場合は、手をあげて監督者に知らせてください。ただし、問題に関する質問には、いっさいお答えできません。
- 5 各問題とも、解答は解答用紙(別紙)の所定欄に記入し、計算は計算の欄に書いてください。
- 6 終了の合図があったら、ただちに筆記用具を置き、監督者の指示にしたがってください。
- 7 解答用紙だけ回収します。問題用紙は持ち帰ってください。

1 次の計算をなさい。

(1) $(-5) \times 3 - (-20) \div (-4)$

(2) $-\frac{5}{6} + \frac{2}{3} - \left(-\frac{7}{2}\right)$

(3) $4x - y - \frac{3x + 5y}{2}$

(4) $\frac{2}{5}x^2y \div \left(\frac{2}{3}xy^2\right)^2 \times \left(-\frac{5}{6}xy^3\right)$

(5) $\sqrt{32} - \frac{10}{\sqrt{2}} + \sqrt{72}$

(6) $(2\sqrt{6} + \sqrt{2})(2\sqrt{6} - \sqrt{2}) - (\sqrt{12} - 3)^2$

2 次の問いに答えなさい。

(1) 下の資料は3年A組の男子20人の体重を示したものである。最頻値を求めなさい。

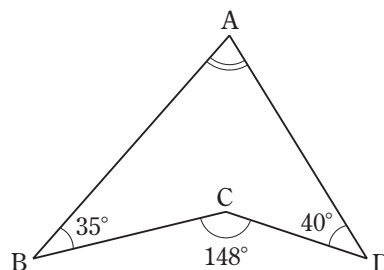
(単位：kg)

62	64	65	62	63	58	62	63	60	64
65	62	61	64	72	63	62	63	66	60

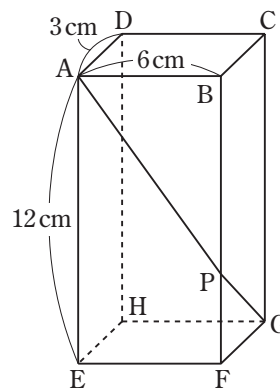
(2) $2x^2y + 10xy - 12y$ を因数分解しなさい。

(3) 2次方程式 $x^2 - 2x = 6$ を解きなさい。

- (4) 右の図のように、 $\angle ABC = 35^\circ$ 、 $\angle BCD = 148^\circ$ 、 $\angle CDA = 40^\circ$ の図形 ABCD がある。 $\angle BAD$ の大きさを求めなさい。



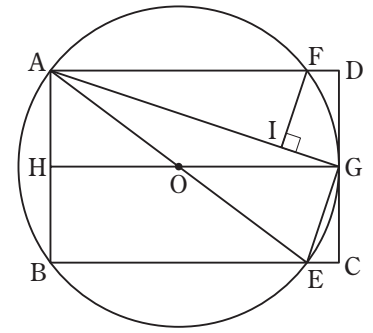
- (5) 右の図のように、 $AB = 6\text{ cm}$ 、 $AD = 3\text{ cm}$ 、 $AE = 12\text{ cm}$ の直方体 ABCD-EFGH がある。点 A から点 G まで、辺 BF 上の点 P を通ってひもをかける。ひもの長さが最も短くなる時、BP の長さを求めなさい。



- (6) y は x の一次関数で、 x の値が 5 増加すると、 y の値は 3 減少する。また、 $x = 10$ のとき、 $y = -2$ である。このとき、 y を x の式で表しなさい。
- (7) 関数 $y = ax^2$ と関数 $y = 2x + 4$ において、 x の変域が $-2 \leq x \leq 4$ のとき、 y の変域が一致する。このとき、 a の値を求めなさい。
- (8) 大小 2 個のさいころを投げるとき、出た目の積が 4 の倍数になる確率を求めなさい。

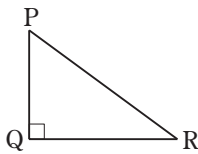
- 3 S 中学校の昨年の生徒数は、男女合わせて 450 人であった。今年は、男子が 10% 減少、女子が 8% 増加し、男女合わせて 441 人となった。今年の男子、女子の生徒数をそれぞれ求めなさい。

- 4 図のように、長方形 ABCD の頂点 A, B は円 O の周上にあり、辺 BC, 辺 AD は円 O とそれぞれ E, F で交わり、辺 CD は円 O と G で接している。直線 GO と辺 AB の交点を H とする。AE = 10 cm, BE = 8 cm のとき、次の問いに答えなさい。
(必要ならば、下にある三平方の定理を利用してよい)



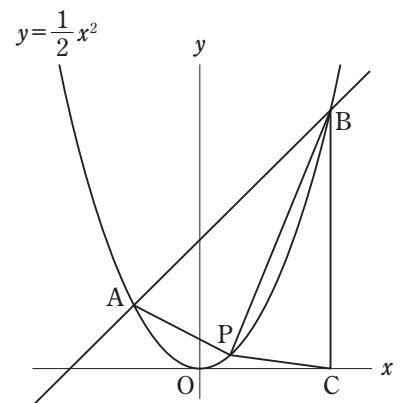
- (1) 辺 AB の長さを求めなさい。
- (2) 辺 AD の長さを求めなさい。
- (3) $\triangle AEG$ の面積を求めなさい。
- (4) 点 F から線分 AG に垂線を引き、交点を I とするとき、 $\triangle AFI$ の面積を求めなさい。

三平方の定理



$\triangle PQR$ が $\angle PQR = 90^\circ$ の直角三角形のとき、
 $PQ^2 + QR^2 = PR^2$ が成り立つ。

- 5 図のように、放物線 $y = \frac{1}{2}x^2$ 上に 2 点 A, B があり、 x 座標はそれぞれ $-2, 4$ である。また、 x 軸上に点 C があり、 x 座標は 4 である。放物線 $y = \frac{1}{2}x^2$ 上にある点を P とし、その x 座標を t とする。ただし、 $0 < t < 4$ である。次の問いに答えなさい。



- (1) 直線 AB の式を求めなさい。
- (2) $t = 2$ のとき、 $\triangle PAB$ の面積と $\triangle PBC$ の面積の比を、最も簡単な整数の比で求めなさい。
- (3) $\triangle PBC$ の面積を t を用いて表しなさい。
- (4) $\triangle PAB$ の面積と $\triangle PBC$ の面積の比が $9 : 8$ のとき、点 P の座標を求めなさい。